

平成29年度事業報告
(自 平成29年4月1日 ~ 至 平成30年3月31日)

公益財団法人岡田茂吉美術文化財団

I. 美術館運営事業

1. 展覧会の開催

MOA美術館を308日、箱根美術館を年間311日開館運営し、尾形光琳筆国宝「紅白梅図屏風」をはじめ、所蔵する日本及び東洋の美術品を中心に特別展、企画展、平常展および館外展を開催した。

(1) MOA美術館 (総入館者数 294,841名)

- ① 奇想の絵師 岩佐又兵衛 山中常盤物語絵巻 義経伝説全12巻一挙公開
平成29年3月17日(金)~4月25日(火) (期間入館者数 37,693名)

出陳件数52件

リニューアルオープンを記念し、奥州へ下った牛若を訪ねて都を旅立ち、山中の宿で盗賊に殺された母・常盤御前の仇を牛若が討つという筋書きで、全長150メートルを超える長大な絵巻物『山中常盤物語』全12巻を3年ぶりに一堂に展観した。

- ② 琳派の美と光琳茶会の軌跡

平成29年4月28日(金)~6月6日(火) (期間入館者数 32,328名)

出陳件数109件

昭和60年光琳屋敷を復元し、これを機に光琳茶会を発足。国内有数の美術商・数寄者の協力のもと毎年2月に茶会を開催。リニューアルオープンを記念し、過去の茶会に取り合わされた多くの作品中から光琳作品を厳選、借用出品し、また、第一回茶会の根津美術館席を復元展観し、その軌跡をふりかえった。

- ③ 美人画の系譜 江戸から近代まで 春章・歌麿・深水・松園を中心に

平成29年6月9日(金)~7月18日(火) (期間入館者数 30,941名)

出陳件数69件

当館コレクションより女性を主題とする肉筆及び版画作品を展観し、美人画の系譜をたどり、作者の美意識や時代の好尚を反映しながら描き続けられた魅力溢れる美人画を紹介した。

- ④ 夏休みコレクション展 北斎「富嶽三十六景」

平成29年7月21日(金)~8月29日(火) (期間入館者数 39,586名)

出陳件数73件

夏休みにあわせ子どもから大人まで親しまれている北斎「富嶽三十六景」全46図を一挙に公開、世界に誇る北斎の傑作を紹介した。

⑤ 第20回MOA岡田茂吉賞展

平成29年9月1日（金）～10月24日（火）（期間入館者数 35,660名）

出陳件数 54件

岡田茂吉賞は、創立者の遺志を継承し、日本工芸の優れた作家に賞を贈り、日本美術の発展寄与を目的とする。本年第20回、大賞は林曉氏が選出され、9月3日にMOA美術館応接室にて受賞式を行った。本展覧会は、現代のトップクラスの作家17名による代表作54点を展観、現代工芸の最前線を展望した。

⑥ 千宗屋キュレーション 茶の湯の美

平成29年10月27日（金）～12月10日（日）（期間入館者数 37,061名）

出陳件数 83件

古美術から現代アートに至るまで造詣が深く、現代の茶の湯を追求する武者小路千家家元後嗣千宗屋氏をゲストキュレーターに迎え、MOA美術館の茶道具コレクションを厳選して取り合わせ、茶の湯の魅力に迫った。

⑦ 暮らしの中の伝統工芸

平成29年12月16日（土）～平成30年1月23日（火）

（期間入館者数 26,115名）

出陳件数 68件

本展では現代の生活に起伏を与える視点から、食器、酒器、茶道具など、暮らしの中の伝統工芸をテーマとして、多彩な作品約60点を展観した。

⑧ 所蔵名品展 尾形光琳 国宝「紅白梅図屏風」

平成30年1月26日（金）～3月13日（火）（期間入館者数 54,478名）

出陳件数 73件

「紅白梅図屏風」をはじめ野々村仁清作「色絵藤花文茶壺」、手鑑「翰墨城」の3件の国宝の同時公開に加え、コレクションの各ジャンルを代表する名品を展観した。

⑨ 北斎と広重 富嶽三十六景と東海道五十三次

平成30年3月16日（金）～4月24日（火）（期間入館者数 36,044名）

出陳件数 121件

本展では、江戸末に活躍した世界的にも著名な、葛飾北斎「富嶽三十六景」全46枚と、歌川広重 保永堂版「東海道五十三次」全55枚、二大絵師による屈指の名作を全期間公開した。

企画展示

矢萩春恵 たのし・たのし

平成29年10月13日（金）～12月27日（水）（期間入館者数 54,108名）

現代女流書家の第一人者である矢萩春恵氏の作品 21 点を展示室第 6 室にて展示公開した。

(2) 箱根美術館 (総入館者数 146,814名)

① 常設展示

- 平成29年4月1日～平成30年3月31日
重要文化財1件を含む縄文から江戸時代に至る日本古陶磁を中心とした常設展示を開催した。
- 別館において、第1展示室にてMOA岡田茂吉賞受賞作家の作品10件を展示した。そして、年間を通して創立者岡田茂吉が提唱した事業を、解説及び写真パネル等により紹介した。

② 小企画展

- 平成29年4月1日～平成29年6月30日
古伊万里、古九谷等を中心にした「色絵陶磁器」展の開催
- 平成29年7月1日～平成29年8月16日
人間国宝の工芸作品を中心にした「近代工芸」展の開催
- 平成29年8月18日～平成29年10月18日
古伊万里、古九谷等を中心にした「色絵陶磁器」の開催
- 平成29年10月20日～12月6日
歌川広重「東海道五十三次」展の開催
- 平成29年12月8日～平成30年3月31日
古伊万里、古九谷を中心にした「日本色絵陶磁器」の開催

(3)館外展

- ① MOA美術館所蔵品 特別展示 黄金の茶室と現代日本美術の粋
会場：掛川市二の丸美術館
期間：平成29年7月15日(土)～8月27日(日)
出品：黄金の茶室(復元)と重要美術品 正親町天皇宸翰日課詠草含む12件と人間国宝 大角幸枝作 南鐐花器「海風」含む8件を展観
主催：(公財)掛川市生涯学習振興公社/掛川市

3. 賛助会員(友の会)の募集

(1) 会員数 10,709名

4. その他

(1) 季刊誌の発行

- ① 財団活動を広く知らせるための「MOA美術館 美の友」誌を、4月・7月・10

月・1月の4回発行し、MOA美術館来館者と友の会会員に配布した。

(2) 美術品や美術品画像データ等の貸出と意匠の許諾など

- ① 美術品の貸出しを、別紙資料1の通り行った。

II. 表彰・コンクール事業

1. MOA美術館児童作品展

美を通して心の教育、「美育」を進めていくべく、家庭、地域、学校と連携し、日々取り組んでいる創作活動を奨励することで、「生命を尊ぶ心」「心豊かな人間」形成を目的として第29回MOA美術館児童作品展を実施した。

(1) 選考方法

- ① 地方展：実行委員会による地方展が国内387会場、海外31会場で開催され、応募作品471,213点から各会場が行う審査会において最優秀作品を決定した。
- ② 全国展：地方展で選ばれた各会場最優秀作品をMOA美術館に集め、文部科学省教科調査官をはじめ美術教師、大学教授、教育委員会指導主事等で構成される全国展審査委員会において、全国展入賞入選作品300点を選考し、文部科学大臣賞などの各賞を決定した。

(2) 賞の種類と点数

① (個人の部)

賞名	絵画	書写
(a) 文部科学大臣賞	6点	6点
(b) 外務大臣賞	3点	—
(c) 厚生労働大臣賞	1点	1点
(d) 農林水産大臣賞	1点	1点
(e) 環境大臣賞	1点	1点
(f) 日本PTA全国協議会会長賞	1点	1点
(g) 全国子ども会連合会会長賞	1点	1点
(h) ボーイスカウト日本連盟理事長賞	1点	1点
(i) 審査員賞	2点	1点
(j) 金賞	5点	2点
(k) 銀賞	18点	5点
(l) 銅賞	30点	10点

② (団体の部)

- (a) 文部科学大臣賞学校奨励賞 6校 (8,615校中)

平成16年より、学校・地域・家庭ぐるみの豊かな情操教育の充実に寄与し、優秀な作品を多く輩出している小学校に対して、文部科学省から文部科学大

臣賞学校奨励賞を以下の6校に下付。

岩手県	大船渡市立	吉浜小学校
秋田県	仙北市立	西明寺小学校
神奈川県	綾瀬市立	綾西小学校
兵庫県	宝塚市立	西山小学校
島根県	益田市立	益田小学校
福岡県	飯塚市立	庄内小学校

(b) 厚生労働大臣賞 2 児童作品展実行委員会

児童作品展を中心に、地域の医療機関での作品展示、ボランティア協力、地域のコミュニティー施設等での日本文化の実践等を通じて、子どもたちの健全なる育成に寄与する活動をしている実行委員会に対して、厚生労働省より、厚生労働大臣賞を以下 2 児童作品展実行委員会に下付

愛知県名古屋児童作品展実行委員会
岡山県倉敷児童作品展実行委員会

(3) 表彰ならびに展覧会の開催

- ①表 彰：表彰式を平成 30 年 1 月 28 日（日）に、農林水産省生産局長 枝元 真徹氏、環境省自然環境局長 亀澤玲治氏他の来賓を迎え、館内能楽堂に於いて開催した。
- ②展覧会：平成 30 年 1 月 13 日～2 月 14 日 於：当館円形ホール
- ③後 援：文部科学省、外務省、厚生労働省、農林水産省、環境省、日本ユネスコ国内委員会、公益社団法人日本 P T A 全国協議会、公益社団法人全国子ども会連合会、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟、全国新聞社事業協議会、公益財団法人海外日系人協会、全国連合小学校長会
- ④図 録：全国展の入賞作品、感想文、歴代受賞者の歩みをおさめた「第 29 回 M O A 美術館全国児童作品展」の図録を作成し、関係者に配布した。

(4) 周年記念事業一日タイ交流児童作品展について

タイ国では、文部省特別教育局との共催により M O A 美術館児童作品展を継続しており、来年度はその 15 周年にあたる。また日本に於ける全国展も 30 周年を迎える事から、その記念事業として、平成 30 年 8 月、バンコク芸術文化センターにて交流展を計画している。そのための準備として、平成 30 年 2 月 11 日～2 月 17 日の期間、担当役員および職員を現地に派遣し協議を行った。開催にあたり、国際交流基金に経費支援を依頼する予定である。

Ⅲ. 体験活動等の事業

1. 日本文化の体験

茶の庭や茶室、茶道具等に触れて抹茶を喫する茶の湯を通して、日本文化を体験する事

業を、美術館開館日に、MOA美術館の茶の庭内の茶室一白庵及び箱根美術館の茶室真和亭において行うとともに、当館及び外部における茶会などを行った。

(1) 茶会

① 第32回光琳乾山忌茶会

創立者の構想に基づき造営した京都広沢池畔・平安郷において、尾形光琳、尾形乾山の命日に因み、顕彰する茶会を開催した。

期 日：平成29年6月2日・6月3日

会 場：京都・平安郷 嵯峨広沢池畔

席 担 当：濃茶席 永青文庫

薄茶席 京都美術青年会

薄茶席 MOA美術館

参会者数：562名（内訳 6月2日 345名 6月3日 217名）

② 初釜

箱根

期 日：平成30年1月15日

会 場：箱根神仙郷・山月庵

参会者数：89名

熱海

期 日：平成30年1月17日

会 場：MOA美術館・一白庵

参会者数：95名

(2) 体験プログラム（お茶、お花など）

① 旅行社とタイアップした茶室見学・体験

日経カルチャー、クラブツーリズム等をはじめとする各旅行社とタイアップし、MOA美術館の「光琳屋敷」や茶室「一白庵」のガイドツアーを実施し、日本の伝統的な建築・庭園空間を五感でお客様に味わっていただく取り組みを行った。なお、このガイドツアーの内容は、近隣観光施設の従業員研修や東海地区の教育者・美術愛好者グループの研修にも活用され、その受け入れを行った。

② 箱根美術館では、平成29年7月21日～8月20日の夏休み期間、小中学生対象に、展示作品を楽しみながら鑑賞していただくため「おもしろクイズ」を実施し、273名が参加した。また、8月5日には、茶室「真和亭」広間での一輪の花体験コーナーも実施し15名が参加した。

(3) 版画「東海道五十三次」を活用した出張美育セミナーの実施

平成29年9月20日 白坪小学校（熊本市）

平成29年9月20日 花陵中学校（熊本市）

平成 29 年 9 月 21 日 網田中学校 (熊本県宇土市)
平成 29 年 9 月 21 日 住吉中学校 (熊本県宇土市)
平成 29 年 9 月 21 日 鶴城中学校 (熊本県宇土市)
平成 29 年 9 月 22 日 木山中学校 (熊本県益城町)
平成 29 年 10 月 22 日～31 日
旧富澤家住宅で展示 (国分寺山梨) (来場者数 2,074 名)
平成 29 年 10 月 22 日 パルテノン多摩にてセミナー開催 (受講者数 200 名)

(4) 夏休み能楽サークル

平成 29 年 8 月 4 日 能楽器体験、能楽講座と能・狂言の鑑賞
演 者：宝生流シテ方 辰巳満次郎
小鼓方大倉流宗家 大倉源次郎
狂言和泉流シテ 野村萬斎
参加者数：小中高生 55 名 大人 247 名

(5) 日本文化体験の実施 於：光琳屋敷 (平成 29 年 4 月～30 年 3 月の実績)

- ① きもの体験 81 名
- ② 茶の湯体験 103 名
- ③ いけばな体験 7 名

合計 191 名が、主に事前予約にて日本文化の体験を楽しんだ。

IV. 主催公演・講座・セミナー事業

1. 主催公演

伝統文化等の普及と芸術鑑賞会を通じた情操教育として、能楽堂における定期演能会や野外における薪能、フロアコンサート等の公演を行った。

(1) 定期演能会 (3 回開催)

- ① 期 日：平成 29 年 6 月 17 日 (入場者数 273 名)
演 目：能「半蔀」金春流 高橋忍 他
狂言「箕被」大蔵流 山本泰太郎 他
- ② 期 日：平成 29 年 11 月 3 日 (入場者数 410 名)
演 目：能「羽衣」観世流 観世清和 他
狂言「水汲」和泉流 三宅右近 他
- ③ 期 日：平成 30 年 3 月 10 日 (入場者数 375 名)
演 目：能「信長」観世流 梅若実 他
狂言「饅頭」大蔵流 山本泰太郎 他

(2) 舞踊・常磐津・囃子と月の道薪能-熱海の森羅万象に捧ぐ- (入場者数 3,600 名) 会 場：熱海サンビーチ特設会場

主 催： あたみ月の道薪能実行委員会／公益財団法人岡田茂吉美術文化財団
期 日： 平成 29 年 10 月 7 日
後 援： 熱海市、熱海市教育委員会、熱海市観光協会、熱海商工会議所、熱海
温泉ホテル旅館協同連合会、(株)エフエム熱海湯河原、(株)伊豆急ケーブ
ルネットワーク、熱海新聞、伊豆毎日新聞
演目出演： 常磐津「仙境」ほか／芸妓置屋連組合
新作能舞「月の道」／辰巳満次郎 他
舞踊・常磐津「四季の山姥」／花柳あらた 他
能 宝生流「羽衣」／辰巳満次郎 他

(3) 講演会 海外から見た日本文化の魅力 (入場者数 450 名)

期 日： 平成 29 年 8 月 19 日
主 催： 公益財団法人日本工芸会、MOA 美術館
出 演 者：
挨拶 林田英樹 公益財団法人日本工芸会理事長
講師 ニコール・クーリッジ・ルーマニエール
(大英博物館 IFAC ハンダ日本美術キュレーター、セインズベリー日本
藝術研究所)
室瀬和美 (漆芸家・重要無形文化財「蒔絵」保持者)
近藤誠一 (近藤文化・外交研究所代表・元文化庁官)
宮田亮平 (東京藝術大学名誉教授)

(4) コンサート

① MOA 美術館リニューアルオープン記念

アルゲリッチ & 伊藤京子スペシャルコンサート (入場者数 480 名)
期 日： 平成 29 年 5 月 24 日 (水)
会 場： MOA 美術館・能楽堂
後 援： 熱海市、熱海市教育委員会
出 演： マルタ・アルゲリッチ (ピアノ)、伊藤京子 (ピアノ)、
カルテット・アマービレ (弦楽四重奏団)

② 能楽堂ハーブコンサート (入場者数 641 名)

人間国宝の漆芸家、室瀬和美氏が、正倉院宝物の「箜篌」への思いから、ハーブに美し
い蒔絵を施した作品「西遊」での演奏会。
期 日： 平成 29 年 12 月 3 日
出 演： 田中 恭子 (ハーピスト)
東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。
日本ハーブコンクール音楽委員。

2. 主催講座

- (1) 光輪花クラブ（会員数 10,689名）
花の美を楽しみながら情操を養い、生活をより美しくし、豊かな生き方ができることを願いとして、いけばなの講座を実施した。
- (2) 光輪花講習会（受講者数 957名）
花のある生活の拡大を願い、季節のいけばな、花サロン、山月サークル等、気軽に生活に生かせる花の講習を実施した。

3. 主催セミナー

- (1) 源氏物語文学セミナー（開催数 11回 参加者総数 1,430名）

- ① 開催日：

平成 29 年

4月18日、5月16日、6月20日、7月18日、9月19日、10月17日、
11月21日、12月19日

平成 30 年

1月16日、2月20日、3月20日

- ② 講師： 羽深恵美

- ③ 開催場所： 能楽堂

V. 育成事業

1. 平成 29 年度文化庁補助事業 伝統文化親子教室（日本工芸会共催）

- (1) 掛川市内の小学校で、工芸家による授業の実施

- ① 平成 29 年 文化庁文化芸術振興費補助事業として

- (a) 平成 29 年 8 月 5 日 掛川市「たまり一な」工作室にて、掛川市伝統工芸体験教室「人間国宝・大角幸枝先生から学ぶ金工教室」開催 掛川市第一小学校 5・6年生（受講者数 30名）

- (b) 平成 29 年 8 月 20 日 掛川市立大坂小学校体育館にて、「人間国宝・藤沼昇先生から竹とんぼ作りを学ぶ 伝統工芸体験教室」開催 同小学校 5・6年生（受講者数 28名）

2. スクールプログラム

- (1) 紅白梅図屏風（複製）をはじめ美術品を通じた美育の推進

- ① 平成 29 年 7 月 26 日 当館にて 城南中学校美術部 21 名と保護者 10 名を対象に、花と茶の湯体験の受入を行った。

- ② 平成 29 年 6 月 17 日 南足柄小学校において紅白梅図屏風レプリカを用いた鑑賞

授業を実施した。

(2) 教職員への研修授業

- ① 平成 29 年 8 月 21 日 世田谷区教職員研修会にて鑑賞授業の講師として当館学芸員を派遣した。

実施場所：東京農業大学 世田谷キャンパス

受講者：世田谷区立小・中学校教員中の希望者

- ② 平成 30 年 1 月 20 日 MOA 美術館にて、人間国宝 増村紀一郎先生・陶芸家 前田正博先生を講師に迎え、静岡県内美術・図工教職員研修会を実施した。

(3) 中学生や高校生の職場体験学習の受入れ

- ① 平成 29 年 8 月 7 日～8 月 9 日 熱海市立泉中学校 2 年生 1 名の職場体験（館内業務）を MOA 美術館にて受け入れた。

- ② 平成 29 年 8 月 8 日～8 月 9 日 函嶺白百合学園高等学校 2 年生 2 名の職場体験（受付、茶室の実習）を箱根美術館にて受け入れた。

3. MOA 美術館児童合唱団の充実と体制整備

合唱と美術鑑賞を合わせて楽しむことによって、音楽教育における感性育成を目的とした児童合唱団の活動を継続し、熱海市民文化祭をはじめとするコンサート出演等も行った。（団員数 9 名、活動日数 41 日、コンサート等出演数 3 回）

4. 花による美育活動の推進－MOA 美術文化インストラクターの育成と資格の付与

(1) インストラクター数 4,939 名

(2) インストラクターの資質向上を図る研修会を、美術館及び各地区で開催した。

(3) インストラクター更新研修（年1回）を各地で実施した。

(4) 新規インストラクター審査を実施し、新たに24名に資格付与した。

VI. 経営基盤の拡充

1. 経営改善

(1) 顧客満足循環型経営への改善（職員の資質向上への取り組み）

- ① 2020 年東京オリンピックを見据えた誘客拡大に向けて、職員の意識づくりを行う勉強会を実施した。

(2) 観光客の誘致・誘客の改善強化など

- ① 熱海市内及び近郊施設への「前売り券」取り組みを行った。
- ② 熱海寮保養所協会との特別提携を行った。
- ③ 有名企業主催イベントとの連携を進め、上顧客旅行等の受入を行った。
(JR東日本「四季島」他)
- ④ 近郊の宿泊施設との入館、及びイベント等とのセットプラン造成に取り組んだ。
- ⑤ 箱根強羅公園、ポーラ美術館等、近隣施設との「共通割引チケット」相互販売に取り組んだ(箱根美術館)。
- ⑥ 富士箱根ゲストハウスにおいて、月2回、外国人宿泊客に対する美術セミナーを開催、茶の湯による日本文化体験コーナーも実施し、美術館への来館を促した。
- ⑦ インバウンド対策の一環として、担当職員を平成30年2月11日～2月17日の期間、タイ国に派遣し、同国の日本旅行者の傾向、特徴、嗜好・興味、および美術館を組み込んだ有利な旅行企画のあり方等の調査を行った。

(3) コスト削減と増収に向けた経営改善計画案などの策定
コスト削減に向けた改革に努め、本年の削減目標を達成した。

(4) 寄付金制度（ファンレイジング）の推進

税額控除対象法人の認定について、友の会会報、MOA美術館ホームページ等を中心に広報し、周知を図った。

2. 入館者増加をめざした取り組み

(1) 展覧会やイベントに焦点をあてた広報・営業活動の推進

① ポスター掲示・チラシ配布

- (a) MOA美術館展覧会ポスターやチラシを年間8回作成し、熱海市内373か所及び全国259か所に掲出依頼。
- (b) イベントチラシを5回作成し、熱海市内373か所に掲出依頼。

② マスコミへの情報提供

- (a) 展覧会、イベント等の情報を積極的に配信、取材の受入れを行った。

(2) 地元市民に開かれた美術館に向けての取り組み

- ① 熱海市役所・熱海市観光団体（観光協会、ホテル旅館協同組合、商工会議所）との連携強化を図った。
- ② 熱海の秋のプロモーション事業として、熱海市制80周年記念事業 舞踊・常磐津・囃子と月の道薪能を開催した。開催内容については、IV-1「主催公演」に詳述している。

③ 熱海市行事受入

平成29年4月10日 熱海市制80周年記念式典

平成 30 年 1 月 7 日 熱海市成人式
1 月 21 日 熱海ジュニアグランプリ表彰式
2 月 2 日 熱海市地震防災講演会

- ④ 平成 29 年 5 月 14 日、熱海市内で開催の「第 71 回全国野鳥保護のつどい」受入に協力し、主賓である常陸宮殿下 M O A 美術館御成りを受けた。
- ⑤ 神奈川県西部地域ミュージアム連絡会の「ミュージアムリレー」を平成 29 年 5 月 19 日に開催、近隣施設関係者を含む参加者に対し、箱根美術館紹介セミナーと、茶室「山月庵」の特別公開を行った。
- ⑥ 小田原箱根商工会議所との連携で、茶室真和亭を利用した親子茶の湯体験を「小田原箱根大博覧会 なりわい体験」として、夏休み期間中 3 日間開催した。
- ⑦ 箱根美術館紅葉シーズンの庭園清掃、駐車場誘導等、箱根町シルバー人材センターからの派遣者とともに取り組んだ。

(3) ホームページや SNS 等による広報の充実

- ① ホームページの更新
 - (a) 展覧会をはじめイベント行事などの情報を、早めにアップするようになった。
- ② フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど SNS の充実
 - (a) 展覧会の見どころ、イベント情報などをリアルタイムでアップ。
 - (b) 「フォロワー」の獲得数をバロメーターに、内容充実に努めた。

3. 施設の貸与事業

茶室（一白庵、真和亭）、能楽堂などを、伝統文化の普及をはじめ当財団の目的に沿った用途に使用する団体・個人への施設の貸出を積極的に行う。

(1) 茶室の貸出

- ① 第 33 回光琳茶会
 - (a) 開催日：平成 30 年 2 月 22 日・23 日
 - (b) 席主
 - 青々庵：濃茶席 吉田誠之助（東京）
 - 樵亭：薄茶席 米近一心庵（名古屋）
 - 一白庵：濃茶席 M O A 美術館
 - (c) 参会者数：521 名（内訳：2 月 22 日 278 名 2 月 23 日 243 名）

(2) 能楽堂の貸出

- ① 熱海市制 80 周年記念式典
期日：平成 29 年 4 月 10 日

- 主催：熱海市
- ② 朗声会（謡曲発表会）
期日：平成 29 年 4 月 23 日
 - ③ MHDモエヘネシーディアジオ 狂言鑑賞会
期日：平成 29 年 5 月 29 日
 - ④ 静岡県教育研究会 美術教育研究部 夏季研究大会
期日：平成 29 年 8 月 8 日～9 日
 - ⑤ 私立美術館会議総会
期日：平成 29 年 10 月 13 日
 - ⑥ ラスカ熱海駅一周年記念 クラシックコンサート
期日：平成 29 年 11 月 5 日
主催：湘南ステーションビル
 - ⑦ 絵はがきコンクール表彰式
期日：平成 29 年 11 月 25 日
 - ⑧ 小原流東京支部 能舞上演
期日：平成 29 年 12 月 18 日
 - ⑨ 熱海市成人式
期日：平成 30 年 1 月 7 日
主催：熱海市・熱海市教育委員会生涯学習課
 - ⑩ 熱海ジュニアグランプリ表彰式
期日：平成 30 年 1 月 21 日
主催：熱海市青少年健全育成市民会議
 - ⑪ 熱海市地震防災講演会
期日：平成 30 年 2 月 2 日

4. 美術館設備・施設（庭園を含む）改善・改修

(1) 美術館の安全確保に向けた対策

① 改修後の新施設運用の習熟

新しい展示室やスタジオ等の新施設、Wi-Fi 無線機等の通信機器、新レジスターその他改修を機に変更した様々な新施設・新設備を使いこなせるよう、昨年度に引き続き館内スタッフはもとより、事務所スタッフも一人一人が意識を持って習熟に取り組み、来館者の安全確保とサービスの向上に努めた。

② 施設・設備の安全対策、サービス向上に向けての更なる改善・改修

（箱根美術館）

- (a) 休憩所の身障者用トイレをウォッシュレットに改修し、おむつ交換台を設置。
- (b) 館内および切符売場の wi-fi 環境を整備した。
- (c) 切符売場棟屋根の防水工事を行った。

（MOA美術館）

- (a) 昨年行った美術館改修工事の是正工事を各所で行った。(保証期間内工事)
- (b) 美術館への順路や開閉館情報をわかりやすく知らせるための館外サインを各所に設置した。

③ 美術館の防災、防犯の設備強化

(MOA美術館)

- (a) 平成29年10月12日に実施された地域の総合防災訓練に職員が参加した。
また昨年の美術館改修工事後の新施設・新設備に対応するため、防災体制・防災マニュアルを一新し、美術館内各飲食店舗・ショップとの共有を図った。
- (b) 休館日の防犯体制強化の為、昨年度に引き続き休館日における入館受付・警備を警備会社に依頼・実施した。

④ 危機管理体制の整備・強化

(MOA美術館)

- (a) 法令および内規に基づき、特定個人情報（マイナンバー）の収集・利用・保管・廃棄における適正管理運用を行った。
- (b) 館内等での不測の事故に備えた賠償責任保険その他の保険加入を本年度の来客数規模に合わせて見直し、更新・継続した。

(箱根美術館)

- (a) 防災備品の確認や防災マニュアルの見直しを行うとともに、町内の自主防災会との合同防災訓練に参加した。

5. 飲食及び物品販売

(1) MOA美術館飲食コーナーの運営

観覧者に美術鑑賞をゆったりと楽しんでいただくための周辺環境の整備として、以下、直営2店舗の運営を行った。

① 和食・甘味 花の茶屋

和食・和のスイーツを提供

② the café

サンドウィッチ、菓子パン、シフォンケーキ等の軽食およびコーヒー等ドリンク類を提供

(2) ミュージアムショップの運営

① 箱根美術館売店

箱根美術館の開館日に営業を行った。

以上

□ 処務報告事項

1. 理事会並びに評議員会開催の件

- 理事会を平成 29 年 4 月 1 日より平成 30 年 3 月 31 日迄に 3 回開催した。
- 評議員会を平成 29 年 4 月 1 日より平成 30 年 3 月 31 日迄に 1 回開催した。

(1) 理事会に関する事

開催年月日		会議事項	
H. 29. 6. 12	議案	平成 28 年度 事業報告及び決算報告承認の件	可決
H. 29. 6. 12	議案	定時評議員会に提出する評議員候補者名簿の件	可決
H. 29. 6. 12	議案	定時評議員会に提出する理事、監事候補者名簿の件	可決
H. 29. 6. 12	議案	定時評議員会開催の件	可決
H. 29. 6. 27	議案	代表理事選定の件	可決
H. 29. 6. 27	議案	業務執行理事選定の件	可決
H. 30. 3. 28	議案	平成 30 年度 事業計画書及び収支予算書承認の件	可決
H. 30. 3. 28	議案	会員に関する規程の修正の件	可決
H. 30. 3. 28	議案	就業規則の修正の件	可決
H. 30. 3. 28	議案	平成 29 年度の事業報告	可決

(2) 評議員会に関する事

開催年月日		会議事項	
H. 29. 6. 27	議案	議長及び議事録署名人選出の件	可決
H. 29. 6. 27	議案	平成 28 年度 事業報告及び決算報告承認の件	可決
H. 29. 6. 27	議案	評議員選任の件	可決
H. 29. 6. 27	議案	理事、監事選任の件	可決

2. 職員異動の件

- (1) 採用職員 6 名
- (2) 退職職員 6 名
- (3) 職員数

	職員	男・男	女・女
計	43	24	19

以上